

# まめなかな

「逢い、合い、愛」

3つの「あい」で安心、快適、元気なまちづくりを目指します

心と心の出逢い 福祉の促進

地域ぐるみの支え合い 子育て応援

自然をいつくしむ愛 環境整備



可児市 市議会議員  
**さかい 正司**  
座右の銘 広く遠くゆっくり

## ご挨拶

桜花を愛でる季節が過ぎ、木々の活力を感じる頃となりました。

平成20年度一般会計予算は対前年4.6%増で可決されました。主な要因は地球温暖化対策、こども医療費の支給拡大、可児駅前整備や高金利の借入金の上上げ償還の経費などです。

地方財政の厳しい状況が続く中、堅実を優先した予算だと思えます。

今年、早くも第1回議会定例会が終了しました。少年老い易く学成り難しと申しますが、小生老いたが学なり易しの気概でまい進します。

議会広報特別委員に加えて、名鉄広見線対策特別委員になりました。議員の本気と行政のやる気につながる事を信じて活動したいと思えます。ご指導ご叱声のほどよろしくお願い申し上げます。

## 3月議会の主な動き

### 議決

- 20年度一般会計予算
- 20年度特別会計予算(16件)
- 19年度補正予算(7件)
- 条例一部改正(15件)
- 条例制定(3件)
- 請願(1件)

### 新設

名鉄広見線対策特別委員会  
\*委員になりました。

### 一般質問

13名の議員が質問しました。今回は議長の指摘などもあり、今までと少し違った雰囲気でした。詳細は市のホームページに載ります。  
\*アクセスは私のホームページのリンク集からコミュニティネット可児⇒可児市議会⇒市議会会議録⇒会議録ライブラリーに進み月日で探してください。

## 『地球温暖化対策に—積極的な取り組みを』

レジ袋の有料化は県が2010年度までの3カ年で県内全域での実施を目指すと言明し、先行している自治体も多くあります。可児市生活学校はレジ袋減らし隊で1万2500枚の削減実績を上げられました。

1 問目の質問：レジ袋有料化の取り組み状況をお聞かせ下さい。マイはし運動は昨年の「県民マイはし使用宣言」で盛り上がりつつありました。

昨年経産省から表彰された可児工業団地の会社が、髪の毛の4分の一の穴をあける事ができる技術で、高級携帯ハシを開発して大変な注文が来たと言先日社長に伺いました。

日赤の方が手作りの携帯ハシ袋を地域の見守り運動に協力下さる方々にプレゼントされてもい



第23回西帷子ゲートボール大会

ます。この様にそれぞれの立場で一生懸命取り組まれているこの時、行政はその責任において市民運動への誘導策を用意すべきだと思えます。市民の正しい小さな動きを見逃さず反応し、その流れに貢献できる体制と志をしっかりと持つべきです。

2 問目の質問：市職員のマイはしの取り組みは。

3 問目の質問：次の3点についてお答え下さい。

1 ツ目：市の20年度予算の地球温暖化防止対策事業費の使途について。

2 ツ目：子ども達への環境教育について。

3 ツ目：増築庁舎の環境面への配慮について。



次に提案です。温暖化対策に取り組む体制を組織横断的に総力を挙げてお作りいただきたい。

その理念は内閣府の消費者行政一元化準備室が参考になると考えます。

4 問目の質問：この全庁を挙げての組織体制作りについてのお考えをお聞かせ下さい。

再質問 環境フェスタが目的化していないか。国や県との政策の整合性は？

環境経済部長の答弁

職員へのマイはしを促進したい。早い時期に組織を挙げて横断的なプロジ

エクトチームを立ち上げしつかり取り組みたい。

市長の答弁

温暖化対策の予算盛り込みは私がトップダウンで行った。可児市単独でも先行したいが可児管内は歩調を合わせなければならぬ。新年度の早い機会に後手後手にならず積極的に取り組んでいきたいのでご了承いただきたい。

子育てパスポート制度で皆が子育てに参加を



少子化対策の強力な推進が望まれる中、市の20年度予算に子育て支援として市内に初めて常設の就学前親子のふれあいの場創

設と、保育園入所待機児童対策を盛り込まれたことを評価します。

産業界において育児支援制度を大幅に拡充する動きがみられ、大垣市や飛騨市が子育て環境日本一を目指しており、今や自治体や企業が子育て支援の施策を競う時代になったと言えます。

1 問目の質問：有償子育て支援ファミリーサポート・センターの当市の利用状況をお聞かせ下さい。

2 問目の質問：岐阜県の「ぎふっこカード」子育て支援制度は、商店等にポイントや値引きの特典提供をお願いするものですが、当市の加入店数が少ないのはなぜですか。

支援の機運高揚のため「子育てパスポート」制度の導入を提案します。

この制度は「ぎふっこカード」の側面と人的支援のファミリーサポート・センター制度の現金授受をポイント制に改めて組み合わせ、ボランティアの協力をも促すものです。

利用資格についても妊娠段階から対象にしたいものです。

この運動は単に子育て

応援のみに留まらず、共助の精神醸成による地域力の向上にも目を向けるべきだと思えます。

経済的なサポートには限度がありますが気持ちの支援は無敵大です、当事者の気持ちになつての暖かい施策の展開を期待します。

3 問目の質問：この「子育てパスポート」についてのお考えをお聞かせ下さい。

ファミリーサポートセンターは平成15年に開設しサポート会員が54人、利用会員が311人両方会員が12人で、年平均353件の利用件数があります。

ファミリーサポートセンターの現金授受をポイント化した場合、メリット分の負担問題に課題があると思

います。地域全体で子育てを応援する互恵関係は非常に重要なので、市としてその機運が高まるよう施策、手段の検討が必要であると考えております。

健康福祉部長の答弁



知って得するマメ知識 <vol.3>

ひつじの毛のお話し

寅さんとウール

寅さんの身なりといえば帽子に腹巻に雪駄、あとはトランクとくりやあ完壁だと思いでしょ。まして羊毛とは何の関係も無いと思いがちですが、ところが大有りで、シリーズ全編同じ背広を寅さんが着ていたのを覚えておいででしょうか。

この背広は特注の羊毛ヒヤクパーセントで尾張一宮製です。何回も同じ生地で作って着ていますが在庫が切れた時にこのシリーズもオワリましたとき、これは本当の話です。(東京葛飾柴又・寅さん記念館調べ)



過去3回の一般質問をしましたが1回目12名、2回目15名今回はなんと20名の支援者が傍聴に駆けつけて下さいました感謝感謝！このような機会を通じて市政に関心を持っていただき、議会活性化につながれば大変喜ばしい事と感じ入っています。次回一般質問は6月17日(火)頃に行う予定です。近づきましたらブログをご覧ください。